



通常学級マイペース 小学5年生

初診のきっかけ

幼稚園年中の時に担任の先生からの勧めで病院受診

医療の助言

担任にABC分析を記入してもらい、情報を共有した。

小学校入学後

教室を出てしまう行動が目立ったため、

- ・ほめ表を作って担任に記入してもらった。
- ・同時にインチュニブ・コンサータの服用を開始し、教室を出る行動はなくなり、落ち着いた。

【通級教室の利用】小学校1～4年生

5、6人集団で、友達の表情の読み取りやコミュニケーションの方法等、発達障害の子どもが苦手とするものをとてもわかりやすく教えて頂いた。

親は別室でマジックミラー越しにその様子を見ているがその際に先生が1名同室に居り解説してくださるので、親も一緒に学べる環境になっている。

また、在籍校の担任も通級を見学しに来てくれる日があり、通級と在籍校で常に密に連絡を取り合っていてくれるのがとても良いと感じた。

【放課後等デイサービスの利用】小学校5年生から現在

- A) 個別支援で、SSTや学習支援等親が希望した支援を行ってくれる。息子の場合は、主にSSTをお願いしている。
送迎なし。
- B) 個別学習支援+集団活動。息子の場合、主に学習面をサポートしてもらっている。宿題は放課後デイで全て済ませてくる。プラスで漢字・算数・英語などの勉強（演習）を行っている。宿題が終わった後、集団遊びにも楽しんで参加している。
学校や自宅など、希望した日時場所へ送迎あり。

【年中～小5を振り返って】

今でも悩みは尽きませんが、本当に色々な方々にサポートしてもらってきたと思います。

幼稚園や学校（担任・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー）・病院・放デイ・計画相談の事業者さん等、多方面に相談をして様々な角度から子どもに合った支援を模索し、環境を整える事が大事だと実感しています。友達にも恵まれ、子ども自身葛藤しながら心も体もとても成長したと思います。状況を把握し、一つ一つ対策していく事の積み重ねで良い方向へ繋がっていくと思うので、これからも情報共有を大切にしていきたいです。

後、親自身の息抜きも大切に、、、

【家族のモットー】

発達凸凹の息子とともに、人生を豊かに楽しく
趣味：魚釣り・スポーツ・サッカー

